

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	エフビー介護サービス株式会社	代表者	柳澤 秀樹	法人・事業所の特徴	<p>1 個別ケア ひとりひとりが歩んでこられた理解と共感に基づき、笑顔と役割を持ち続けられるように、自立支援を基盤としたケアを行います。</p> <p>2 認知症ケア 認知症の正しい理解に基づき、ひとりの「人」としての尊厳を大切に、その人らしく安心して過ごせる居場所と関わりを提供します。</p> <p>3 看取りケア 穏やかな日々の暮らしの場で安らかな旅立ちを迎えられるように、さまざまな職種のスタッフが協力して、利用者様とご家族に寄り添い支えます。</p> <p>4 地域ケア 住み慣れた地域で安心して最期まで生活が送れるように法人内外の組織住民の方々との連携を図り支援します</p>
事業所名	小規模多機能あったかほ一む坂城	管理者	佐山 邦仁		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	2人	1人	人	人	人	3人	人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	情報収集やケアの方向性に向けて、必要に応じて、センター方式のシート等の活用を行う。	ご利用者様の以前の生活に対する把握・理解が不十分な面が感じられた。	新型コロナウイルス感染防止の観点から、外部評価はアンケート記載のみ実施。	各利用者様に担当職員を置き、情報収集だけでなく、情報を有効に共有できるシステムを構築する。
B. 事業所のしつらえ・環境	今後も、経年劣化等がある箇所は修繕を検討し、利用者様が使いやすく過ごしやすい環境を整えていく。	必要に応じて、適宜修繕を実施。面会や施設に来られる方が減った中で、施設外周の環境や見栄えまで、行き届かない部分もあった。	新型コロナウイルス感染防止の観点から、外部評価はアンケート記載のみ実施。	感染防止に配慮しつつ、利用者様が過ごしやすい様な環境を継続して整えていきます。
C. 事業所と地域のかかわり	近隣の保育園や学校等との交流を検討していく。実際に対面して行う以外でも出来ることを計画し実行する。	地区の行事への参加は行えたが、コロナウイルスの影響もあり、他施設との交流を図ることが出来なかった。	新型コロナウイルス感染防止の観点から、外部評価はアンケート記載のみ実施。	感染が落ち着いた時点で、多方面との関わりを計画していきます。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	他地区の民生委員の方にも運営推進会議に参加していただくか、運営推進会議の会議録を参照していただくように働きかけていく。	コロナウイルスの影響により、半分が書面での開催となってしまった。	新型コロナウイルス感染防止の観点から、外部評価はアンケート記載のみ実施。	本人の暮らし方の把握と共に、必要な地域・社会資源との結びつきを検討し、実行していく。

E. 運営推進会議を活かした取組み	今まで参加いただけなかった、近隣事業所や地域住民の方に案内を送り参加を促していく。	コロナウィルスの影響により、会議への参加を促す機会が設けられなかった。	新型コロナウイルス感染防止の観点から、外部評価はアンケート記載のみ実施。	参加して頂けるメンバーの見直しを含め、会議の拡充と共に、発信方法を見直していく。
F. 事業所の防災・災害対策	BCP 計画に沿った訓練計画の中で地域の方にも参加してもらえる計画を練り込む。 施設における備蓄の確認・検討を行う。	災害を想定した訓練は実施出来た。備蓄品については、水や食料等が今後の課題となった。	新型コロナウイルス感染防止の観点から、外部評価はアンケート記載のみ実施。	事業所の防災対策を地域へ理解して頂き、相互で協力できる体制を作っていく。